

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和4年度分）

（宛先）岡崎市長

令和5年4月24日

団体名 ラ・サラ・デ・エスパニョール

代表者 近藤 玲子

構成員 6人

（※令和5年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

スペイン語を用いて積極的な国際理解・交流に努めるとともに、主にスペイン語を母語とする岡崎在住、あるいは岡崎を訪問する外国人に、必要に応じて適切な支援や対応が迅速に行えるよう、定期的かつ継続的に研修を進め、資質の向上に努める。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	受益者※		活 動 内 容	効 果	分類 ※
		会員以外	会員			
R.4 4月5日～ 毎週大曜日	りぶら 102B	0人	6人	教室名を「La Sala de Español」とし、定期的にスペイン語の学習会を実施	聴取練習を強化したことで、実践力が上がった。	②
R.4 6月5日(日)	岡崎公園	2人	1人	バブル世代出身の留学生とその友人(パリ出身)にスペイン語で公園内を案内した。	コロナ禍で帰国できない学生達とスペイン語で会話、共通理解を促すことができた。	①
R.4 11月13日	せぞれホール	450人	6人	会員1名も含むフラメンコ教室「アウラ」によるショー鑑賞	フラメンコの歌詞から私達の文化との共通点を理解する事ができた。	③
R.4 11月16日	セラテック 「厳選屋」	20人	1人	岡崎自身フラメンコダンサーの天野みさ子とのショーと交流会	地元のダンサーとの交流を通じ、フラメンコの音楽をより身近に感じることができた。	③
R.5 1月7日	りぶら (中央階段)	250人	6人	フラメンコ教室「アウラ」によるショーと、フラメンコ文化の紹介	開放的な空間で「りぶら」を訪れた人々にフラメンコ文化に接してもらうことができた。	③

新型コロナウイルス感染拡大防止のため（新型コロナウイルスの影響により）公益活動が全く実施できなかった。（該当する場合)

※受益者 団体が提供したサービスを受けた人

※分類 ①=人を助ける活動 ②=活動の担い手を育てる活動 ③=人々を啓発し、団体の目的を広める活動

☆活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

コロナ禍だけでなく、経済環境等の変化により、来岡する外国人が減少し、私達の活動の場も少なくなった。今後は、研修は進めつつも、スペイン語だけにこだわらず、広く社会に貢献できる道を考えていきたい。